



美里中だより

第 2 号
令和 6 年 4 月 19 日
美里町立美里中学校

学校教育目標

「学び 共感し 鍛え 10 年後の社会を形成する生徒の育成」

【目指す生徒像】☆自ら学びよく考えぬく生徒☆ものごとに共感できる生徒 ☆心身ともに健康で鍛えぬく生徒

【目指す学校像】 一人ひとりが輝き、出番のある学校

HP 更新中



信頼関係の入り口には「他者に何かを与える」がある

5 月 1 2 日は「母の日」です。この時期になると、何かと街ではプレゼントを贈ろうという雰囲気ができます。「母の日」の起源には諸説ありますが、よく知られているのは「100 年ほど前のアメリカ・ウェストヴァージニア州で、アンナ・ジャービスという女性が亡き母を追悼するため、1908 年 5 月 10 日にグラフトンの教会で白いカーネーションを配ったのが始まり」という話です。日本で初めて母の日のイベントが行われたのは明治末期頃といわれています。

最近誰かにプレゼントを贈りましたか？どんなプレゼントも、贈る相手のことを想像しながら、「何をあげたら喜んでくれるかな」と悩んで選んだものだと思います。相手が喜んでくれると、贈った自分まで嬉しくなります。

私は、人間関係の土台をつくる上で、このプレゼント、つまり「他者に何かを与えること」が非常に重要だと思っています。プレゼントするものは、何も金品に限りません。例えば母の日に「いつもありがとう」と感謝の気持ちを伝える。あるいは大会を控えた友だちを「頑張ってね」と励ます。そんな言葉も立派なプレゼントです。誰でも、何かプレゼントを受け取ると、贈ってくれた相手に感謝を抱き、それまで以上に相手のことを好きになるはずで、嬉しいのはモノをもらえたからではなく、そこに込められた気持ちをもらえたから。ですから、何かと励ましてくれたり、感謝の思いを気持ちよく伝えてくれたりする人がいれば、やはりその人のことを好きになるでしょう。何かがあったとき、真っ先に相談しようと思いつく、大切な人になるはずで、このように、好意やそれにもとづく信頼関係に入り口には、いつも「他者に何かを与える」があります。

ここで考えたいのは、「信頼」という言葉です。「信頼」と同じような場面で使われる言葉に「信用」があります。どちらも相手を信じることを指して使われます。でも実は、この 2 つの言葉がもつ意味は大きく異なります。「信用」は「信じて用いる」と書きます。つまり「信じて（その能力を）使うこと」を意味する言葉です。一方、「信頼」は文字通り「信じて頼ること」を意味します。相手のことを信じた上で、頼りにする。ときには助けてもらう。こう考えてみると「信用」と「信頼」の違いが分かりやすくなるのではないのでしょうか。信用は「この人なら役に立つだろう」と相手の能力に注目していますが、信頼は「この人なら助けてくれるだろう」と相手の人間性に注目しているのです。

考えてみれば、子どもにとって幼なじみに相談するよりも、知識や経験をもった大人に相談する方が、悩みを解決に導いてくれる可能性は高いです。それでも、幼なじみに連絡する。それは、幼なじみなら自分の話を親身になって聞いてくれるだろう、力になってくれるだろうと思ったからです。言い換えれば、幼なじみを「信頼」しているから、相談相手に選んだのです。これはまさに「能力ではなく人間性で相手を選んでいる」と言える例です。

私たちは、誰かに頼らなければ生きていくことができません。それと同時に誰かに頼ってもらえる存在でありたいと思います。つまり、私たちはお互いに頼り合える「仲間」が必要なのです。こうした信頼関係に基づく本当の仲間のことを「頼り頼られる仲間」と呼びますが、そんな仲間を増やしていきたいものです。

全校で道徳開きを行いました

生徒が活躍する将来は、未来予測が困難な社会が到来するといわれています。さらに、グローバル化の進展により、これまで以上に歴史的、文化的な背景を異にする人々と対話し協働していくことが必要となります。そのような社会の中では、主体的に考え判断する力や高い倫理観をもち、時に意見や考えが衝突したとしても、よりよい方向を目指し努めていこうとする資質・能力が求められます。道徳教育の目指すべき姿として「多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質である」と示されています。

このような基本的資質を養う『考える道徳』のスタートとして、4月16日(火)全校一斉で道徳開きを行いました。道徳部の教員がオンラインで全クラスに授業配信しました。授業では、上記の目的のほか、「対話と会話の違い」や対話を活性化するための「ファシリテーションのスキル」などについて学習をしました。



	会話	対話
目的	相手との仲を深め、 和やかな雰囲気をつくる	問題を解決する
特徴	場の雰囲気を優先し、 対立を避ける	異なる意見を 認め合い、本音で話す

田村 次朗 13歳からの対話力(くもん出版) 2023

事務作業日を設定します

埼玉県教育委員会が策定している「学校における働き方改革基本方針」に基づき、「教員の在校等時間の超過勤務の上限『原則月45時間以内、年360時間以内』とする」の目標達成に向けた取組として、今年度から月末に「事務作業日」を設定します。この日生徒は、A日課4時間授業を行い、給食、清掃、部活なしで下校します(日課についてはHPをご参照ください)。その後の時間を、教職員の事務作業の時間として充てさせていただきます。保護者や地域の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

また、昨年度から電話対応時間は、(1) 7:45~17:00【部活動なし】

(2) 7:45~完全下校時刻後15分程度【部活動あり】

としております。引き続き、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

5月の予定

予定は今後変更することもあります。A日課、B日課の日程についてはHPに掲載しています。

5月	学校行事等	日課	5月	学校行事等	日課
1 水			17 金	生徒会朝会②(学級委員会) 通信陸上都市予選会	
2 木	授業参観(担任授業)13:20-学級懇談会14:25- PTA理事会15:30-(部活休養日)	B 5時間	18 土		
3 金			19 日		
4 土			20 月	眼科検診13:00-(1年全員、2,3年抽出)	
5 日			21 火	第1回学校運営協議会	
6 月			22 水	尿検査二次(予定)	
7 火	尿検査	月曜日課	23 木	ふれあいデー(16:50) (実行委員の日・部活休養日)	B日課
8 水			24 金	全校朝会(校長講話) リーダーシップ講座Ⅰ(1年)Ⅳ(2,3年)	
9 木	3年修学旅行(-11日)(学年の日・部活休養日)	B 5時間	25 土		
10 金		A 5時間	26 日		
11 土			27 月	人権講話 人権週間(-6/7) 教育実習-6/14(音・体)	
12 日			28 火		
13 月	3年振替休業日		29 水	内科検診(1-1,1-2)	
14 火	①英検IBA(全学年)		30 木	技能科テスト範囲表配布(学級の日)	B日課
15 水	埼玉県学力・学習状況調査(全学年)		31 金	事務作業日(部活休養日)	A 4時間
16 木	生徒会専門委員会② 歯科検診(1-1,1-2,1-3,2-1)(生徒会の日・部活休養日)	B日課	6/1 土		